

# 福島第二原子力発電所 放射線業務従事者数および線量状況

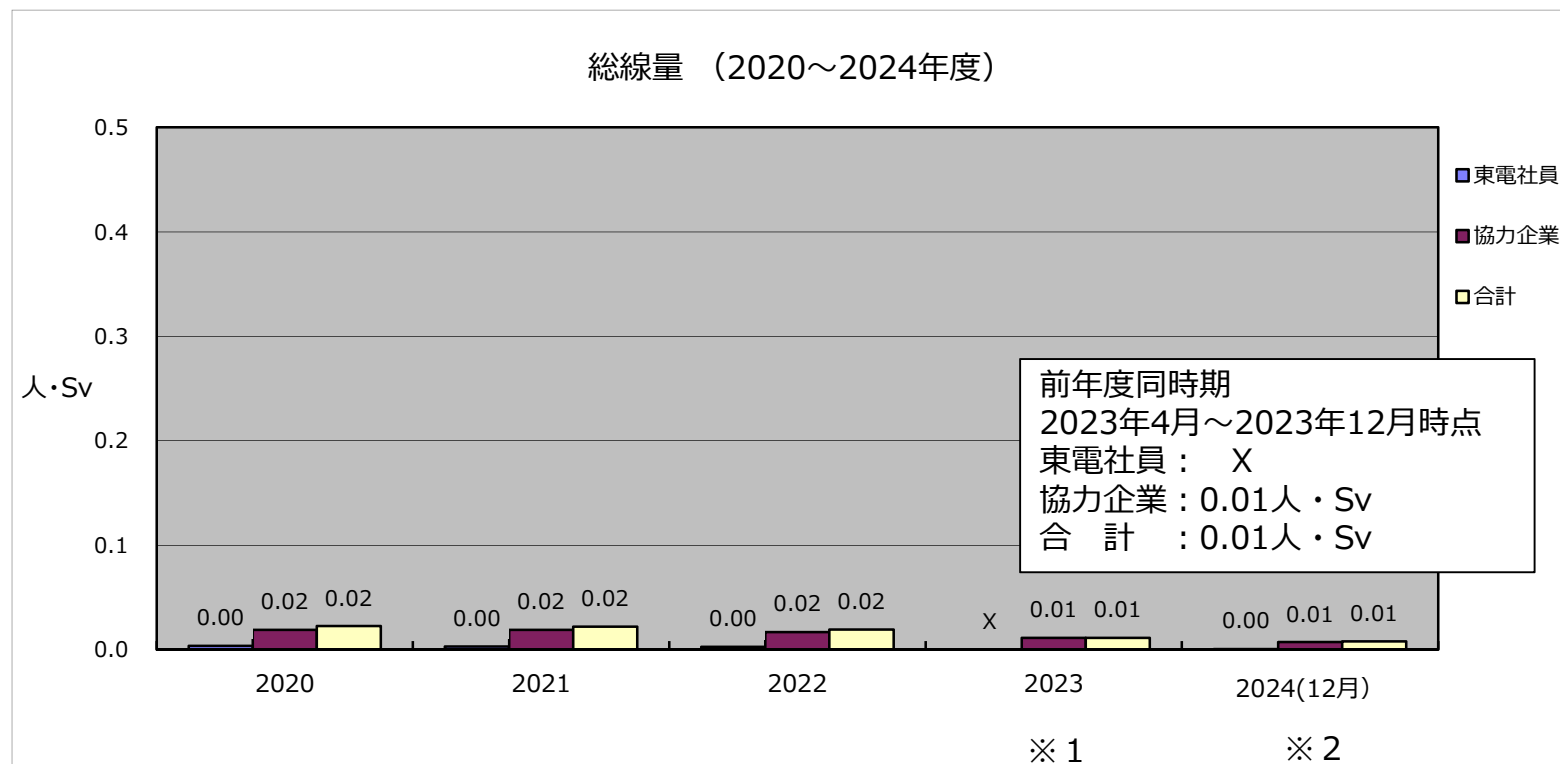
2025年 2月19日

---

東京電力ホールディングス株式会社

## ①年度別外部被ばく総線量

- 前年度の同時期と比較して、同程度である。

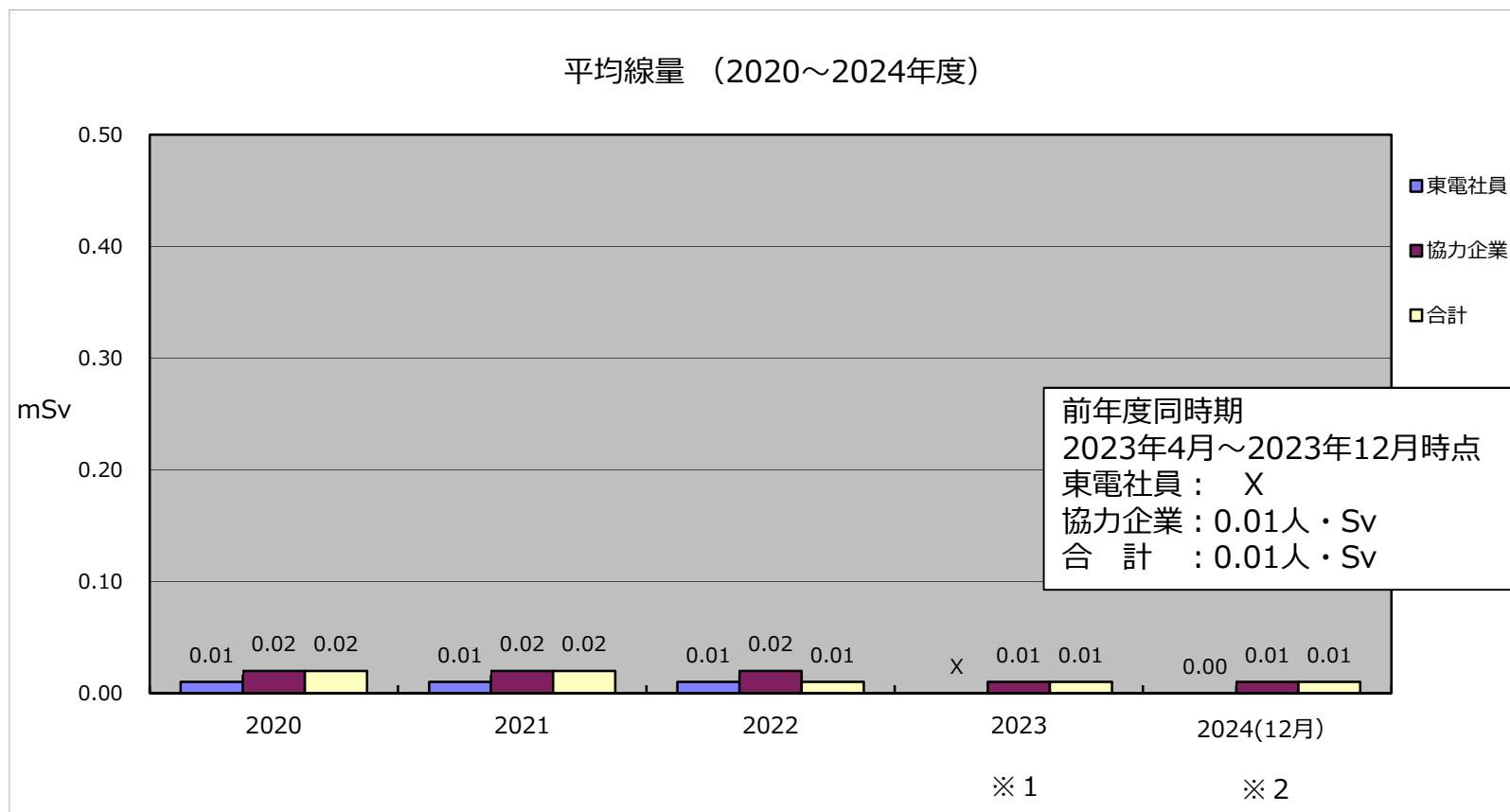


※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2024年度12月末の線量実績は暫定値の為、受動型個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

## ②年度別外部被ばく平均線量

- 前年度の同時期と比較して、同程度である。



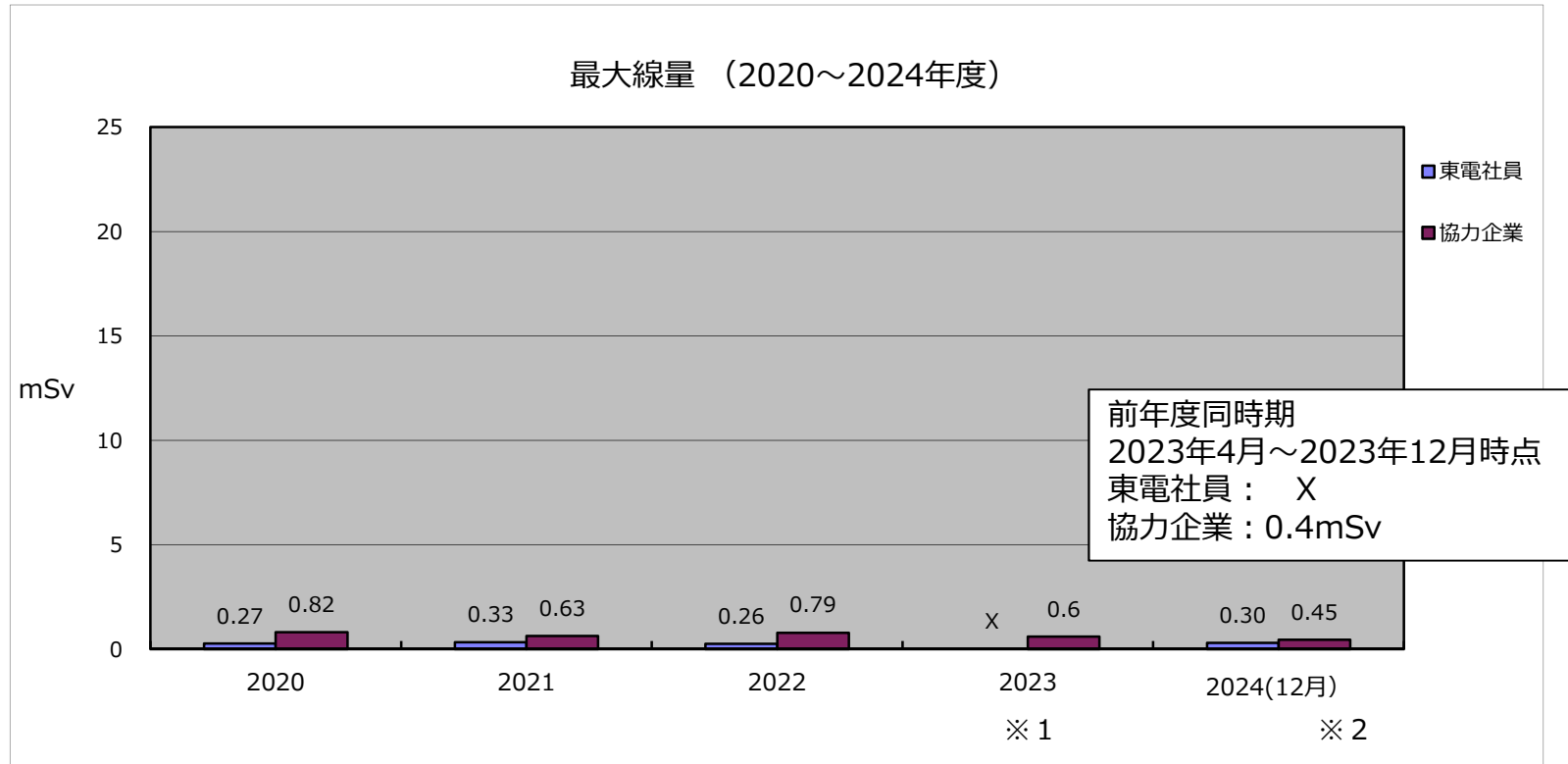
※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2024年度12月末の線量実績は暫定値の為、受動型個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

### ③年度別外部被ばく最大線量

- 前年度の同時期と比較して、同程度である。

尚、外部被ばく最大線量の要因は、今年度実施している「福島第二原子力発電所で保管している試料等の福島第一原子力発電所輸送実施に伴う事前サンプル採取作業」である。

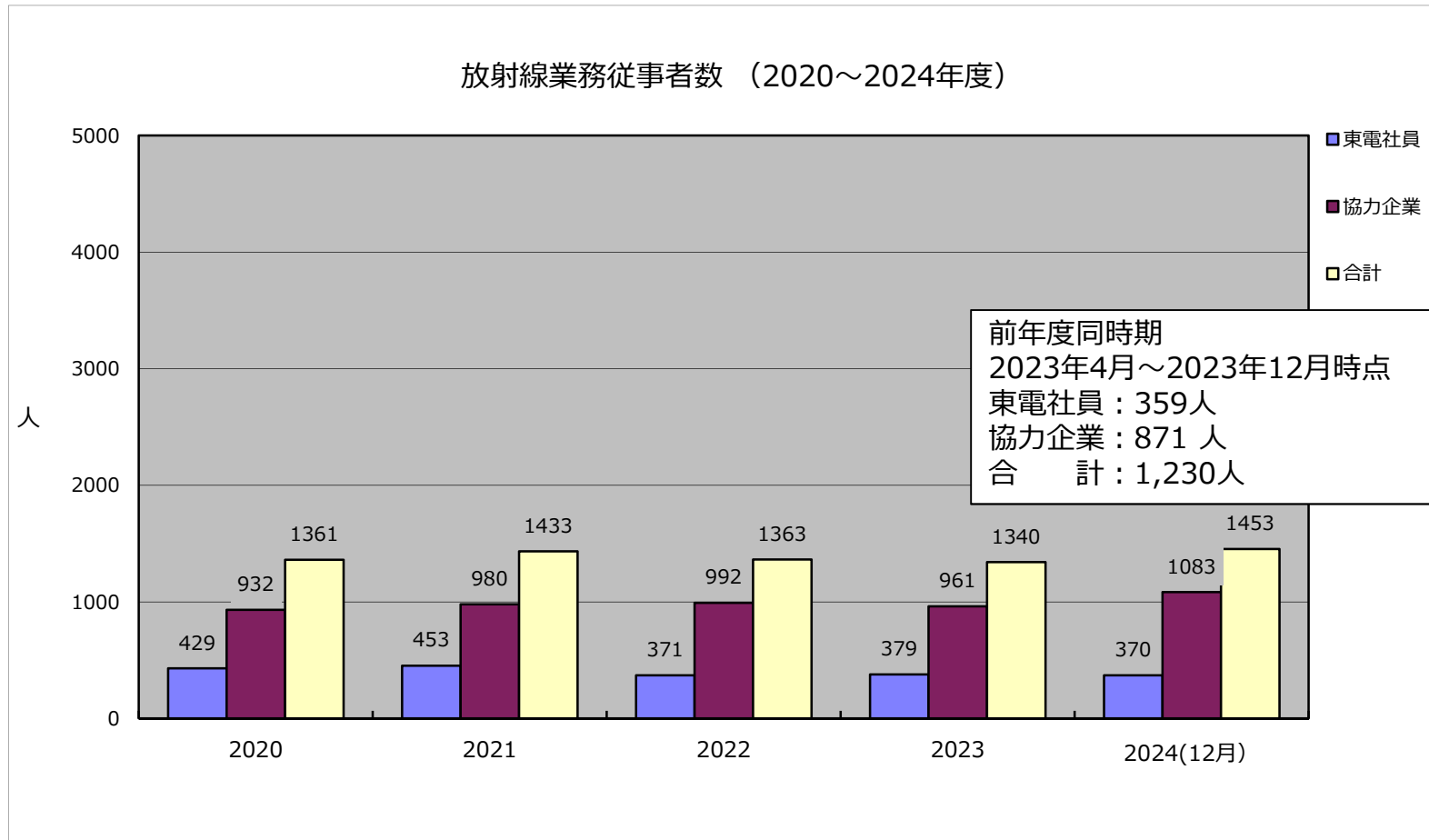


※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2024年度12月末の線量実績は暫定値の為、受動型個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

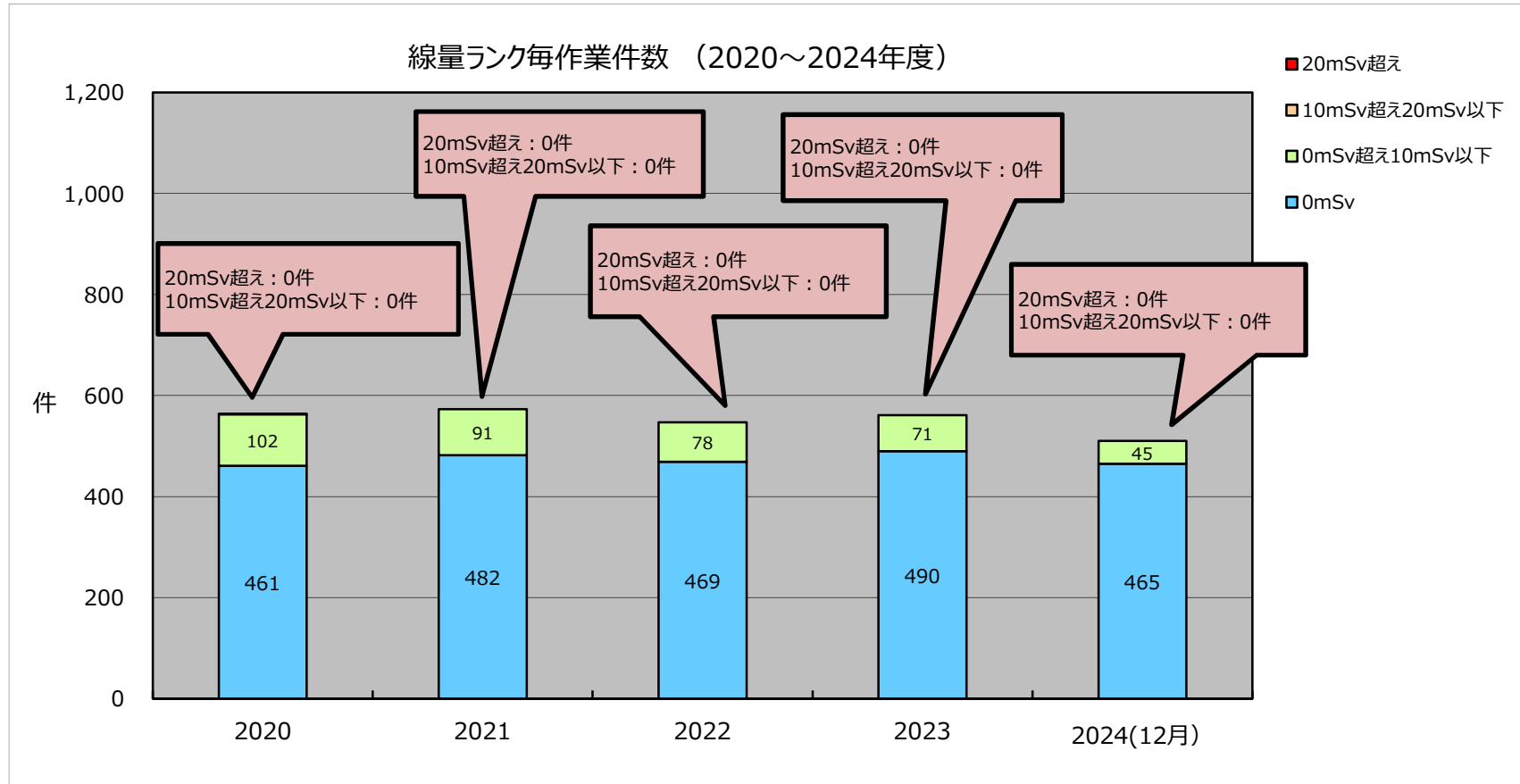
## ④年度別放射線業務従事者数

- 前年度の同時期と比較して、やや増加している。



## ⑤年度別線量ランク毎作業件数

- 2020年度から2024年度12月末において10mSvを超える作業は、0件となっている。



## ⑥ 2021年4月1日を始期とする5年間の実効線量

---

2021.4月～2024.12月末の累積		
個人最大実効線量 (mSv)	東電社員	協力企業
		0.59

## ⑦前年度との比較

- 2024年度の実績は、前年度の同時期と比較して作業件数、作業時間については、昨年の同時期と比較してやや増加している。  
定例作業以外の件名の増分が主な要因であると考える。
- 個人最大線量について、東電社員は「福島第二原子力発電所で保管している試料等の福島第一原子力発電所輸送実施に伴う事前サンプル採取作業」、協力企業は「廃止措置汚染状況の調査業務」となっている。

比較項目		2023年度12月末	2024年度12月末	比較 (2024-2023)	
作業件名数		470 件	510 件	40 件	
作業時間		69,917 時間	100,910 時間	30,993 時間	
総線量		0.01 人・Sv	0.01 人・Sv	0.00 人・Sv	
平均線量		0.01 mSv	0.01 mSv	0.00 mSv	
最大線量	東電社員	X ※1	0.30 mSv	- ※2	mSv
	協力企業	0.4 mSv	0.45 mSv	- ※2	mSv
放射線業務従事者数		1230 人	1453 人	223 人	
総線量が10人・mSvを超える作業件名数		0 件	0 件	0 件	

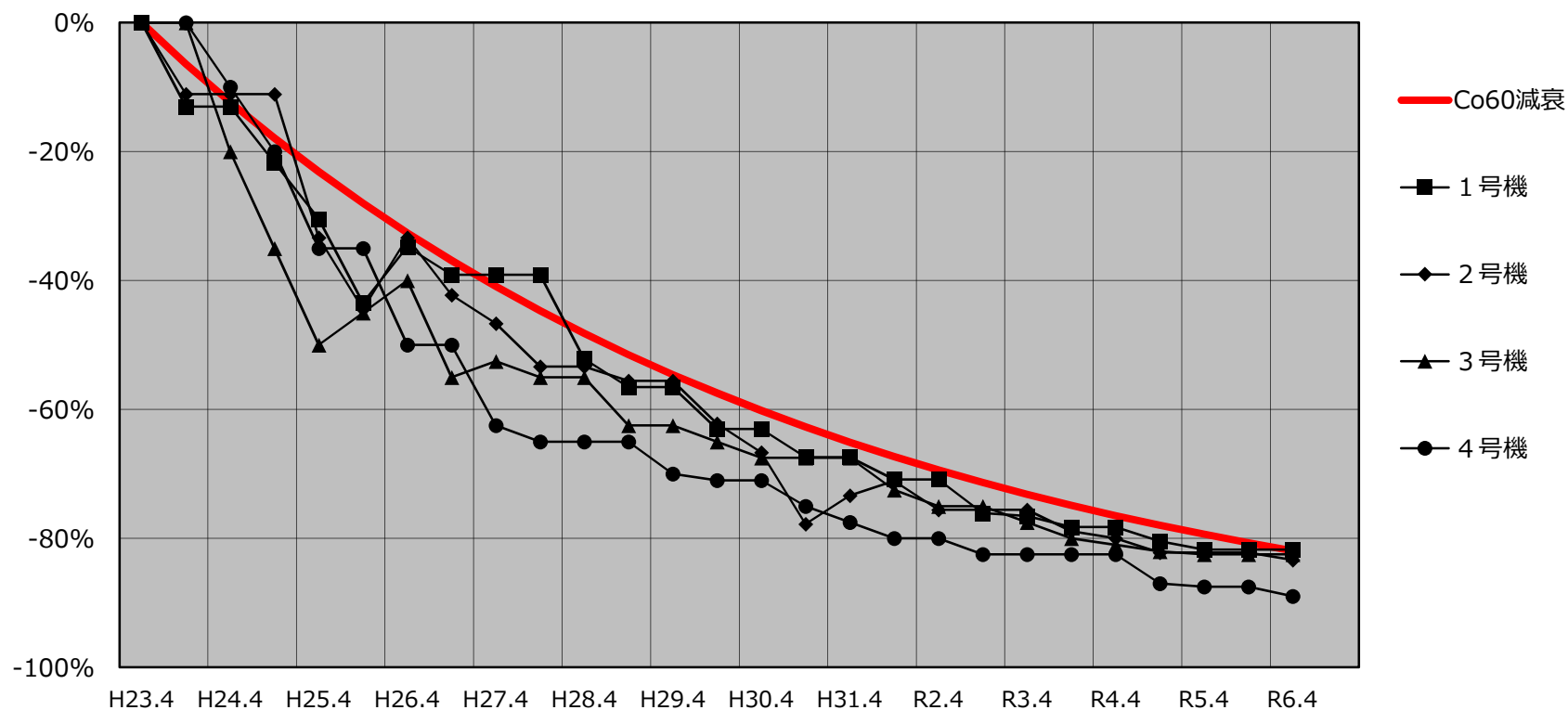
※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2023年度は受動型個人線量計による評価、2024年度12月末はAPDによる評価(暫定値)のため比較は一とした。  
2024年度12月末の線量実績は暫定値の為、受動型個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。



## CUW:原子炉冷却材浄化系

作業環境推移 (C UWポンプ (A) 出口配管の線量減衰状況)



作業環境に与える指標として採取している代表的なデータを示したもの(D/W内を除く)